

こどもファースト

こどものまもちをうけとめる



1歳児 てくてくグループ
「ほく・わたしの主張」



てくてくグループは笑顔がとってもめんこくて♡好奇心旺盛な10名の子どもたちです。

1歳になると、欲しい物ややりたいことに自分から手を伸ばして行動するようになり、歩くようになったことで今まで見えなかった高い所や遠くまで目が届くようになって、どんどん「知りたい」「やりたい」気持ちが強くなっていく時期です。最近は言葉が増えてきて色々な方法で気持ちを伝えてくれるようになりました。

子どもたちは絵本が大好き！絵本棚から好きな絵本を持ってきては「みる」（読んで！）と言葉で伝えたり、絵本を持ったまま保育者の膝の上にど〜んと座ったり、時には保育者の膝の上の取り合いになることも…。(笑) また、ある時には少し高い棚の上にある絵本に一生懸命手を伸ばし、指さして「あの本が欲しい」とアピールしたりと、一人ひとりがそれぞれの方法で一生懸命に表現してくれます。お昼寝前の読み聞かせの時間にはお気に入りの絵本を「もっかい、もっかい（もう一回）」と人差し指を出して何度もリクエスト!!「え・・・また見るの?」と思ってしまうくらい



繰り返し…。でも、「この絵本おもしろいよね」と気持ちに共感してあげることで子どもたちは笑顔になり、その表情が何とも言えず可愛いんです。その笑顔を見ると私たちも幸せな気持ちになります。

そんな小さな毎日の繰り返しですが、子ども達の表情や行動などその一瞬を見逃さず子どもたちとやりとりを楽しみながらこれからも過ごしていきたいと思ひます。

松ヶ岬保育園の看護師からの情報発信コーナー



テーマ
『子どもの脱水について』



梅雨が明けて本格的な夏！これから気を付けたのが「子どもの脱水」です。

○子どもが脱水になりやすい理由

大人の体内水分量が60%に対して、子どもの体内水分量は70～80%と水分の割合が高い！

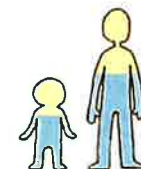
さらに・・・

◆新陳代謝が活発なため、たくさん汗をかく

◆自分の意識で水分補給ができない

◆体内の水分量を調整する機能がまだ未発達

→水分量が多いのに、おしっこや汗としてたくさん体に出るため、失われる水分量も多く脱水になりやすいのです。



子ども 80% > 大人 60%

○脱水症状のサイン

①泣いても涙や汗が出ない

②おしっこに行く回数が少ない（量が少ない）
おしっこの色が濃い

③ボーっとしてぐったりしている、機嫌が悪い

④口や唇が乾燥している

○脱水を予防するポイントは「ちょこちょこ水分補給」

脱水は見た目だけでは気づきにくい症状です。

水分補給をする際には”量よりも少しずつ回数を多く”を心がけながら

今年も元気に暑い夏を乗り切りましょう！



我が家の

勝負メシ!

愛織ちゃんのお母さん
高橋 愛さん



少食な姉と、偏食気味な愛織。日々の献立には頭を悩ませています。「おなかすいた！いただきます！」と勢いはあるものの、長くは続かず……。そんな我が家でも、高確率で完食&おかわりしてくれるメニューは「カレーライス」です。夕食のメニューにプーイングの多い我が家ですが、カレーライスの日だけは歓声があがります。(笑)母のこだわりは、少量でも栄養が摂れるようにたくさんの野菜を細かく切って入れること。しっかり炒めて野菜の甘みを出すこと。そして、トマトを入れること。しっかりと時間をかけて作るほど、「美味しい！おかわり！」と喜んでたくさん食べてくれます。そんな子どもたちを見て、母は大喜びです。

最近は「お手伝いしたい！」と、一緒に作るが増えました。野菜の名前クイズをしたり、切り方や型抜きをしたり。一番大切な味見という名のつまみ食いも忘れずに♡お手伝いをしてくれたカレーはひと際美味しいようで、目をキラキラさせています。そんな時間を、これからも大切にしていきたいと思っています。

ちなみに、一度にたくさん作って、次の日、チーズをたっぷりかけたカレーうどんにするのが我が家の定番です。



～将来のあなたへあてたお手紙です～

大きくなったきみへ

びっころ
いくた
郁汰くんのお母さん
山門 礼子さん

郁汰へ

計量カップを握りしめながら寝ている君の隣でこの手紙を書いています。

2歳4ヶ月になった郁汰は、働く車が好きで、水遊びが好きで、ピタゴラスイッチがとーっても好きです。20歳になった郁汰は何に夢中なのかな？

郁汰がお腹にいる時は、なかなか大変でした。切迫流産・早産の危機を乗り越えようやく臨月に入り、いつでも生まれていいぞ！と思っていたら今度はなかなか生まれず、結局予定日を2日過ぎた令和5年3月13日、サンドイッチの日に郁汰は生まれました。退院してから最初の1ヶ月は里帰りをせず、父と母だけで子育てをスタートしたんですよ。母は郁汰のお世話に専念して、父は母のお世話を全部やってくれました。あの1ヶ月は大変だったけれど、3人で頑張った特別な時間だったなぁと思います。

乳幼児の頃から小さなことでゲラゲラよく笑う郁汰、大人になった今もたくさん笑っていますか？

母は若い頃、勇気が足りなかったなぁと思う場面がたくさんありました。それでも、そばで応援してくれて、一緒に道を作ってくれる人達に助けられてきました。なので母は、郁汰に「〇〇に挑戦してみたい！」と言われたら全力で応援します。どんな小さなことでも、大きなことでも、変なことでもね。一緒に考えてやってみようね！郁汰の笑顔と元気が、父と母の活力です。

大好きな郁汰と大好きなお酒を飲める日を心待ちにする母より（父も！）

